

第2章 事業概要

2 - 1 . 全体概要

本年度のアウトリーチ（訪問支援）研修は、事前研修、実地研修、事後研修の3つの研修から構成されており、選定されたNPO等の職員17名が参加した。

事前研修は、訪問支援に係る基礎的な知識・スキルの向上を目的に講義と演習を中心に実施した。そして、実地研修では、各研修生が全国9か所の受入れ団体にて、2週間又は4週間、講義、ロールプレイ、訪問支援の同行等の研修を受けた（図表1）。事後研修は、本研修の振り返りをし、今後の支援の中でどのように成果を生かすかを討議した。

図表 1 研修参加者所属機関・実地研修先一覧

（研修参加者の所属機関・団体 50音順）

No.	研修参加者の所属機関・団体	実地研修先
1	財団法人 札幌市青少年女性活動協会	山武郡市広域行政組合教育委員会 山武郡市教育相談センター
2	財団法人 京都市ユースサービス協会	浜松市精神保健福祉センター
3	財団法人 京都市ユースサービス協会	特定非営利活動法人 NPOスチューデント・サポート・フェイス
4	特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
5	特定非営利活動法人 関西青少年自立支援センター NOLA	特定非営利活動法人 NPOスチューデント・サポート・フェイス
6	特定非営利活動法人 キャリア・ファシリテーター協会	特定非営利活動法人 教育研究所
7	特定非営利活動法人 KHJにいがた「秋桜の会」	特定非営利活動法人 教育研究所
8	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	特定非営利活動法人 北陸青少年自立支援センター

No.	研修参加者の所属機関・団体	実地研修先
9	特定非営利活動法人 チュラサンガ	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮
10	特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・ フェイス
11	特定非営利活動法人 日本メデイエーションセンター	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
12	特定非営利活動法人 発達支援研究センター	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
13	特定非営利活動法人まごころ	特定非営利活動法人 ICDS キャリア・デザイン・ サポーターズ
14	特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
15	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・ フェイス
16	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや
17	宮日総合広告株式会社	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしづや

2 - 2 . 各研修の実施概要

(1) 事前研修

- ・ 実施期間：平成 23 年 7 月 25 日（月）～ 7 月 29 日（金）
- ・ 実施場所：中央合同庁舎 4 号館
東京大学弥生講堂セイホクギャラリー
- ・ 参加者：研修生 17 名
- ・ 実施内容：アウトリーチに関する座学・演習を実施。
- ・ 講師：図表 2 を参照。

図表 2 事前研修 研修日程一覧

7月25日(月)	7月26日(火)	7月27日(水)	7月28日(木)	7月29日(金)
<p>～ 13:15 内閣府集合</p> <p>13:30 開会の辞</p> <p>13:40 受入団体との懇談</p> <p>14:40 各自の取組の紹介 (自己紹介含む)</p> <p>17:00</p> <p>17:15～ 委託業者より事務連絡</p>	<p>9:30</p> <p>演習</p> <p>日本生産性本部 大山雅嗣</p> <p>17:00</p>	<p>9:30</p> <p>演習</p> <p>NPO法人 スチューデント・サポート・フェイス 谷口仁史</p> <p>17:00</p>	<p>9:30</p> <p>演習</p> <p>NPO法人 スチューデント・サポート・フェイス 谷口仁史</p> <p>17:00</p>	<p>9:30 講義 和歌山大学保健 管理センター所長 宮西照夫</p> <p>10:50</p> <p>11:10 講義 異文化間カウンセリング 研究所所長 大塚芳子</p> <p>12:40</p> <p>12:50 閉会の辞</p>
研修会場：合同庁舎4号館108・120	研修会場	東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー（東京大学農学部内）		

図表 3 事前研修 事前研修の研修生の様子



(2) 実地研修

- ・ 実施期間：平成 23 年 9 月 5 日(月)～平成 23 年 2 月 17 日 (金) (図表 4 参照)
- ・ 実施場所：9 団体に分かれて研修を実施。
- ・ 参加者：研修生 16 名
- ・ 実施内容：各受入れ団体が計画した計画書に基づき、座学・ロールプレイ・訪問支援への同行（概ね 1 回以上）等の研修を各受入れ団体の指定した場所で実施（図表 5 参照）。

図表 4 実地研修 研修日程一覧

(受入れ日程順)

No.	受入れ団体名	受入れ期間	受入れ日程
1	特定非営利活動法人 北陸青少年自立支援センター	2 週間	9 月 5 日～9 月 16 日
2	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・ フェイス	2 週間	9 月 6 日～9 月 17 日、 11 月 8 日～11 月 19 日
3	山武郡市広域行政組合教育委員会 山武郡市教育相談センター	2 週間	9 月 12 日～9 月 22 日
4	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや	2 週間	① 9 月 26 日～9 月 30 日と 2 月 13 日～2 月 17 日 ② 10 月 17 日～10 月 28 日
5	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	2 週間	10 月 17 日～10 月 28 日
6	浜松市精神保健福祉センター	2 週間	10 月 17 日～10 月 28 日
7	特定非営利活動法人 ICDS キャリア・デザイン・ サポーターズ	4 週間	10 月 31 日～11 月 25 日
8	特定非営利活動法人 教育研究所	2 週間	11 月 7 日～11 月 18 日
9	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮	2 週間	11 月 7 日～11 月 18 日

※受入れ期間には、研修の休日を含む。

図表 5 実地研修 各団体の研修実施概要

No.	受入れ団体名	実施概要
1	<p>特定非営利活動法人 北陸青少年自立支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内外・関連事業所見学 ・ 資料配布、ビデオによる説明 ・ ひきこもり状態の青少年達と農作業・スポーツ等を主にした共同生活体験 ・ アウトリーチ同行 ・ ケース会議参加
2	<p>特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問支援を実践する上での留意点等の事前講義 ・ 訪問支援への同行、振り返りの実施 ・ コネクションズ・スペースでの適応訓練支援 ・ 就労体験等への随行
3	<p>山武郡市広域行政組合 教育委員会 山武郡市教育相談センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山武郡市教育相談センターの概要と利用状況等についての講義 ・ 訪問カウンセラーの心構えと活動状況について講義 ・ 訪問カウンセリング同行 ・ 適応指導教室における教育相談、学習支援、コミュニケーション活動支援、事例検討の在り方について検討
4	<p>特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体概要等の講義 ・ 定例検討会への同席 ・ 訪問支援についての事前講義 ・ 訪問支援への同行
5	<p>特定非営利活動法人 青少年自立援助センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設や支援内容等の講義 ・ 施設実習(地域若者サポートステーション等) ・ ワークショップ(ロールプレイ) ・ 訪問支援への同行

No.	受入れ団体名	実施概要
6	浜松市精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ センターでのミーティングで他課や他機関との情報交換 ・ 訪問支援に同行（ひきこもり相談支援事業、精神科診療所） ・ 適応指導教室での交流、情報交換 ・ フリースクールの活動に参加 ・ 自殺対策連携プロジェクトに参加 ・ ひきこもり家族教室、当事者のグループ会に参加 ・ ひきこもり相談支援事業の支援員連絡会に参加 ・ ひきこもり地域支援センターの企画検討委員会の会議に参加
7	特定非営利活動法人 I C D S キャリア・デザイン・ サポーターズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション、団体の取組説明 ・ 集団・グループ介入についての実務理解 ・ 面談の陪席、インテーク ・ 宿泊型支援研修 ・ ロールプレイの実施 ・ 訪問支援への同行
8	特定非営利活動法人 教育研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校・ひきこもりの理論的講義 ・ 不登校・ひきこもり支援の現状の講義 ・ 訪問支援にあたっての講義（インテーク、段階に応じたひきこもり支援の手法） ・ 訪問支援への同行
9	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北斗寮、地域若者サポートステーションの活動に参加 ・ 各種セミナーに参加（コミュニケーション等） ・ 訪問支援に関する講義 ・ 訪問支援に関するロールプレイ ・ 訪問支援に関するケース検討 ・ 訪問支援のケース検討

※複数のコースで研修生を受け入れている場合はある1つのコースでの内容を記入している

図表 6 実地研修の研修生の様子



(3) 事後研修

- ・ 実施期間：平成 24 年 2 月 27 日（月）～2 月 29 日（水）
- ・ 実施場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・ 参加者：研修生 15 名
- ・ 実施内容：初日は、受入れ団体別に実地研修の成果を発表。2 日目・3 日目は、小グループに分かれて、グループワークを実施（図表 7 参照）。

今年度、事後研修の新たな取組みは大きく 3 つ挙げられる。

1 つ目は、各受け入れ団体別に実地研修の概要と学びを共有したことである。ここでは、各団体での学びが共有され、また他の研修生との意見交換も行うことで学びが深まった。

2 つ目は、各研修生が実地研修中に最も印象的だったエピソードをストーリーテリングという手法を参考にして共有をしたことである。実際には、1 人目の研修生が話したエピソードについて、聞こえてきた内容を 3 つの観点（聞き手が理解したエピソードの内容、その背後にある大事にしていること・価値観、聞き手の感想）から再度話し直す方法を用いた。

3 つ目は、支援者としてありたい姿と必要な支援を考えるために、ペルソナ・シナリオを作成したことである。ペルソナとは、架空の人物像のことであり、支援者と支援対象者それぞれを各グループで詳細に設定した。その設定を基に、支援者が支援を受け始めてから自立するまでの一連のシナリオ作成を通して、現状で支援が滞っているポイントや、自身はどのスキルを伸ばしたいか、アウトリーチを実施する有効な場面等を話し合ってもらった。最後には、各グループのペルソナとシナリオを説明してもらい、各班での学びを共有した（事後研修の様子は図表 8）。

図表 7 事後研修 研修日程一覧

日程	時間	講義内容
2月27日	14:00~17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ団体別発表 ・参考になったこと/聞きたいこと/気になることの棚卸し
2月28日	9:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・実地研修で印象に残ったエピソードを共有する（ストーリーテリング） ・支援者として重要と考える価値観を探る ・支援者としてありたい姿、必要な経験やスキルを探求する（ペルソナ・シナリオ作成）
2月29日	9:30~11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成 ・個人発表

図表 8 事後研修の研修生の様子

